

コミュニティ・スクールだより Vol.4

発行者 松ヶ崎小中学校 学校運営協議会
コミュニティ・スクールディレクター 北愛子
地域コーディネーター 石井沙耶

寒さの中にも春の訪れを感じる今日この頃、皆様におかれましてはますますご壮健のことと存じます。平素は学校での教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

2月16日(金)、令和5年度第4回 学校運営協議会を開催いたしました。

今年度より、地域と学校が共に子どもたちを育むことを目指して、松ヶ崎・岩首地区が一体となって何ができるのか【話し合う】時間を設けることに挑戦しています。

今年度最後の回である第4回目は、活動報告です。実際にどのように取り組めたかということについて各グループに報告していただきました。

<プロジェクト一覧>

- ①就職エージェントをつくらうプロジェクト
- ②バス通学しない日をつくらうプロジェクト
- ③学校を地域に開放するプロジェクト
- ④紅葉山をもっとみんなの愛する場所にプロジェクト

今回は学校運営協議会に入る前に、中学生の「マイ・タイムライン（※）」の授業の参観がありました。中学3年生から水害・土砂災害の際に出る警報や避難情報などについて説明があり、配られたハザードマップで自宅の位置を確認しました。その後、集落ごとのグループに分かれ、マイ・タイムラインを発表し合いました。

松ヶ崎・岩首地区は、海・川・山すべてがある、自然豊かで素敵な環境です。その分自然災害とも隣り合わせであるため、普段から防災意識を高めて過ごすことが大切だと再確認できる機会になりました。



※マイ・タイムラインとは：水害・土砂災害に備え、前もって取るべき行動を時間ごとに整理した自分の避難行動計画

授業参観から戻ってきたあとは、まずCSディレクターの北よりこれまでの振り返りと、発表してほしいこと（計画の進捗・良かった点・難しかった点）を伝えました。

発表内容を一部ですがご紹介します。

①就職エージェントをつくらうプロジェクト

生徒が地域の仕事を知ることが目的に、多田郵便局長が中学校でキャリア教育講話を実施。

→今後も、松ヶ崎・岩首地区内の企業と連携して継続する予定。

②バス通学しない日をつくらうプロジェクト

岩首⇄松ヶ崎間の道は、通学で子どもたちが歩くには危ないのでは？地域の方の付き添いも大変…。

→通学ではなく、「遠足」や「校外学習」という形で実施するのはどうかと検討中。

③学校を地域に開放するプロジェクト

地域のみなさんと放課後子ども教室でゲートボールを実施。そこへ来てくださった方の何人かは、その後の放課後子ども教室にも定期的に参加して下さっている。

発表のあとは各自振り返りシートを書き、お一人ずつ一言コメントをいただき、今回は終了となりました。いただいたご意見をいくつかご紹介します。

▼振り返りシートより

- ・地域のみなさん、先生方の学校に対する愛情を強く感じた。
- ・子ども、地域、学校のためにみんなで考える機会を持てて良かった。
- ・このような会を続けていってほしい。
- ・全4回の協議会で大きく進めるのは難しいので、少しずつ進めていくことが必要かもしれない。



今年度の学校運営協議会は、これまでとは異なる形式で実施してきました。今回の取り組みは一区切りとなり、次年度以降はまた新しい委員のみなさまを迎えることとなります。「子どもたち・学校・地域のための学校運営協議会」という視点を第一に、有意義な機会となるよう尽力してまいります。引き続きよろしくお願いたします。

